

2018年7月26日

ムンバイ 6、バンガロール 3 データセンターを提供開始 ～インドにおけるデータセンター供給能力を 1.7 倍に拡大～

NTT コミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）は、インドのグループ会社 Netmagic Solutions Private Limited（以下 Netmagic）を通じて、インドにおいて 8 番目と 9 番目となる「インド ムンバイ 6 データセンター」（以下 ムンバイ 6）と「インド バンガロール 3 データセンター」（以下 バンガロール 3）の提供を 7 月 27 日より開始します。ムンバイ 6 は、インド最大規模のサーバールーム面積約 7,900m²（2,750 ラック相当）を、バンガロール 3 は、サーバールーム面積約 5,700m²（1,500 ラック相当）を保有し、これによりインドにおけるデータセンター供給能力が約 1.7 倍^{※1}に拡大されます。

1. 背景

インドのデータセンター市場は、日本や中国に続く、アジア第 3 位の規模であり、年平均 25-30% と極めて高い成長率が続いています。特に、近年のモバイルインターネットの急拡大や e コマース、IoT、ビッグデータの進展を背景に、大手 IT 事業者がクラウドサービス提供拠点を相次いで開設するなど、需要が急速に拡大しています。

NTT Com は、Netmagic を通じてインドのデータセンターサービスを提供しており、現在ムンバイ、バンガロール、デリー（ノイダ）、チェンナイにデータセンターを展開しています。近年では、2014 年 3 月より「インド バンガロール 2 データセンター」を、2015 年 10 月より「インド ムンバイ 5 データセンター」を開設していますが、お客さまの需要に継続的に応えるため、今回これら 2 つのデータセンターを新たに提供します。

[別紙 1] インドのデータセンター

「インド ムンバイ 6 データセンター」の外観イメージ



「インド バンガロール 3 データセンター」の外観イメージ



2. データセンターの概要、特長

ムンバイ 6 は、インド経済の中心地であるムンバイ市において、ムンバイ国際空港から車で約 15 分の利便性の高いエリアに建設され、「インド ムンバイ 5 データセンター」に隣接しています。インド国内外のインターネット関連企業・メディア・金融機関のお客さまを対象にサービス提供します。

バンガロール 3 は、インドのシリコンバレーと呼ばれるバンガロール市の東部に位置する Whitefield 地区に建設され、インド国内外のシステム開発・運用管理を受託する IT サービス企業や BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）企業のお客さまを対象にサービス提供します。

(1) 抜群の電力・通信の安定性を備えたデータセンター

ムンバイ 6 およびバンガロール 3 は、「Nexcenter™」※2 が定める厳格な設備・運用基準に準拠しています。また、電力・空調・通信設備の冗長化やセキュリティ設備の導入などにより、インドにおいて最高レベルの信頼性や SLA を備えたサービスを提供します。インド国内は一般的に電力供給が不安定で、停電も多い中、両データセンターでは、24 時間 365 日にわたり安定した電力を継続的に供給します。

(2) インドで事業展開するお客さまにネットワークやクラウドを含めた ICT ソリューションを提供

NTT Com は、グループ会社の NTT Communications India Network Services を通じて取得した、インド国内長距離通信（National Long Distance）ライセンス、インド国際長距離通信（Virtual Network Operator - International Long Distance）ライセンスにもとづいて、セキュアで高品質なインド国内向け MPLS サービス、ならびにグローバルネットワークサービス「Arcstar Universal One」を展開しています。これらのサービスとクラウドサービスなどを組み合わせた ICT ソリューションを提供し、お客さまのハイブリッド ICT 環境の最適化を実現します。

(3) 国際認証に準拠した安全かつ柔軟な運用サービス

NTT Com は、ムンバイ 6 およびバンガロール 3 において、IT システム運用管理の包括的ガイドラインである ITIL^{※3} にもとづき、ISO 27001、ISO 9001、ISO 20000-1 などの国際認証に加えて、SAP や Cisco 認定を取得した先進の運用体制で、各種マネージドサービスやオンサイトスタッフによるリモートハンドサービス^{※4} など、安全かつ柔軟な運用サービスを提供します。また、クレジットカード業界のセキュリティ基準である PCI DSS^{※5} の認定も取得予定です。

[別紙 2] 「インド ムンバイ 6 データセンター」の標準仕様

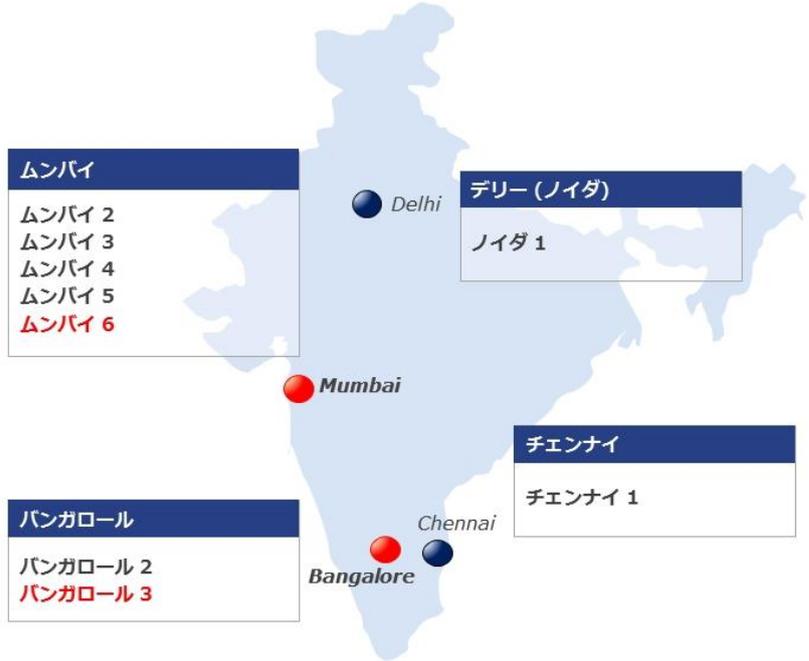
[別紙 3] 「インド バンガロール 3 データセンター」の標準仕様

- ※1： サーバルーム面積比
- ※2： 「Nexcenter™」は、NTT Com のデータセンターサービスブランドです。
世界 20 以上の国・地域で、高品質データセンターサービスを提供しています。
- ※3： ITIL は、Information Technology Infrastructure Library の略で、ICT サービスの運用・管理におけるベストプラクティス、ノウハウをまとめた書籍群のこと。英国規格である BS 15000 のベースとなっており、業界標準として認知されています。
- ※4： リモートハンドサービスは、お客さま機器の目視確認や電源の OFF/ON、ランプの点灯状態の確認、ケーブルの抜き差しなど、ネットワーク経由で実施できない作業を NTT Com のオペレーターがお客さまに代わって実施するサービスです。
- ※5： PCI DSS は、Payment Card Industry Data Security Standard の略で、クレジットカード会員情報の保護を目的として策定されたカード情報セキュリティの国際統一基準です。

(参考) Netmagic 社について

Netmagic (本社：インド ムンバイ、CEO：Sharad Sanghi) は、1998 年に設立し、インドでコロケーションサービスやクラウドサービスを提供する、インドにおける業界のパイオニアです。2,000 以上の企業に対して高品質サービスを提供しています。2012 年に NTT Com が子会社化しました。

インドのデータセンター拠点



Nexcenter

[別紙2]「インドムンバイ6データセンター」の標準仕様

所在地	インドムンバイ チャトラパティ・シヴァージー国際空港より車で約15分	
建物	構造・階数	データセンター専用建物、鉄筋コンクリート造 地上7階/地下2階
	サーバールーム面積	約7,900m ² (2,750ラック相当)
	二重床耐荷重	約1,500kg/m ²
電力設備	受電	二系統受電 IT機器向け総電力提供可能容量:20MW
	非常用発電装置	N+2冗長構成 24時間以上無給油運転可能
	UPS	2N冗長構成 バッテリー保持時間10分以上
空調設備	空冷式 N+2冗長構成	
消火設備	早期煙検知器 煙感知/熱感知装置 ガス消火設備	
セキュリティ設備	ICカード、PINコード、セキュリティゲート、建物防御柵、 高機能監視カメラ、ラック個別施錠等の設備	
その他設備	レンタルオフィス、会議室、無線LAN、ラウンジ、お客さま 専用駐車場	
通信環境	キャリアニュートラル	
保守・運用サービス(24/365)	機器監視、技術サポート、セキュリティ、通信、ストレージ、 マネージドサービスなどの関連サービスが利用可能	
各種認証(取得予定含む)	ISO 20000、ISO 27001、ISO 9001、PCI DSS 取得予定	

[別紙3]「インドバンガロール3データセンター」の標準仕様

所在地	インドバンガロール ケンペゴウダ国際空港より車で約1時間	
建物	構造・階数	データセンター専用建物、鉄筋コンクリート造 地上8階/地下1階
	サーバールーム面積	約5,700m ² (1,500ラック相当)
	二重床耐荷重	約1,500kg/m ²
電力設備	受電	二系統受電 IT機器向け総電力提供可能容量:7MW
	非常用発電装置	N+2冗長構成 24時間以上無給油運転可能
	UPS	2N冗長構成 バッテリー保持時間10分以上
空調設備	空冷式 N+2冗長構成	
消火設備	早期煙検知器 煙感知/熱感知装置 ガス消火設備	
セキュリティ設備	ICカード、PINコード、セキュリティゲート、建物防御柵、 高機能監視カメラ、ラック個別施錠等の設備	
その他設備	レンタルオフィス、会議室、無線LAN、ラウンジ、お客さま 専用駐車場	
通信環境	キャリアニュートラル	
保守・運用サービス(24/365)	機器監視、技術サポート、セキュリティ、通信、ストレージ、 マネージドサービスなどの関連サービスが利用可能	
各種認証(取得予定含む)	ISO 20000、ISO 27001、ISO 9001、PCI DSS 取得予定	